



是川石器時代遺跡

八戸市 約6,000～2,300年前
史跡指定／1957年(追加指定2004年、2013年)



八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

縄文の美を伝える遺物が多数出土

堀田遺跡、一王寺遺跡、中居遺跡の三遺跡からなり、中でも中居遺跡は亀ヶ岡文化を代表する遺跡の一つです。居住域、墓域、加工場、捨て場、祭祀場など多様な遺構が見つっています。美しい造形の土器や土偶も数多くあり、赤漆を塗った土器や木の皮で作られた容器も出土しています。



顔料で赤く染められた人骨



木胎漆器の出土状態

中居遺跡の沢地跡からは、トチのアク抜きをするための水さらし場が見つかりました。また、サケを獲ったと考えられる木製の三本ヤスも出土するなど、水場を利用した縄文人の暮らしが見えてきます。



Q&A

Q 何千年も前の木製品がなぜ残っているの？

A 中居遺跡の沢地跡からは捨て場が見つかりました。地下水が豊富で、空気にふれることが少なく、木の実や骨、漆器などが腐らずに残っていました。



漆塗りのクシの出土状態

Q 是川縄文館に胸像がある泉山兄弟とは？

A 泉山岩次郎(兄)と斐次郎(義弟)により、1920年代から昭和の初めにかけて是川遺跡の発掘が行われました。両氏により出土品は大切に守られ、約5,000点が八戸市に寄贈されました。

関連展示施設

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館



是川石器時代遺跡や風張1遺跡など、八戸市内の遺跡からの出土品や発掘成果について展示しているほか、体験学習や縄文講座なども開催しています。

ここに注目!

「漆の美」のコーナーでは、中居遺跡出土の木胎漆器、らん胎漆器、土器などが多数展示されています。

開館日時 9時～17時 月曜日(祝日の場合その翌日※第1月曜は開館)・年末年始休館
入館料 大人250円ほか
住所 八戸市是川横山1
電話 0178-38-9511



【遺跡に関するお問い合わせ】
八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
TEL 0178-38-9511